

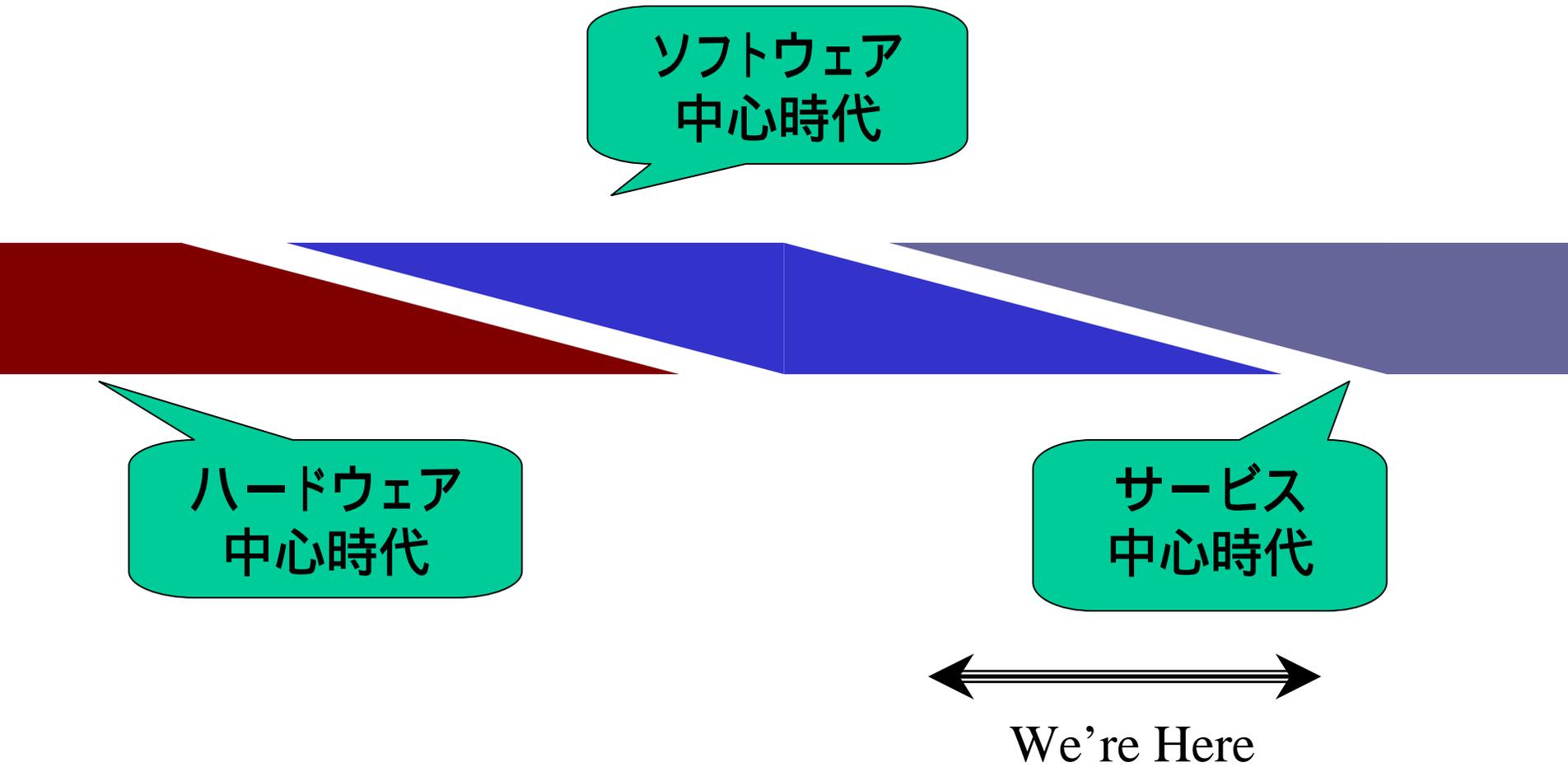
オープンソース・バブルについて 考える

特定非営利活動法人
フリーソフトウェアイニシアティブ
副理事長 鈴木裕信

2003年11月FSIJ&SEA月例フォーラムで使った資料

いまさら説明するまでもなく

- 日本においてもオープンソースを使ってソリューションを提供するベンダーがどんどん増えている
 - 組み込みから
 - Eコマース
 - 自治体システム
 - バンキング
- 役所も力を入れてきた
 - 大企業の公官庁向けセクションすらもオープンソースとかいい始めてきた



ソフトウェアはコモディティ化しており市場支配的な力を失っている

バブルだよね

- 実態から乖離した熱狂
- 梃子の原理
- 天才の出現
- 歴史の健忘症

J.K. Galbraith

*A Short History of Financial
Euphoria (1990)*

FSUJ&SEA月例フォーラムにて (1)

- 社会的認知の向上に伴い責任だけは増す
 - よりプレッシャーは増している
- 業務として認められてない
 - 下手をすると会社に知的財産権も含めて取られてしまう可能性もある
- 会社から帰り一人家で夜中までハック
 - 「好きだからやっている」の一言で終わらせていいのか
- 受益者は何をしているのか

FSIJ&SEA月例フォーラムにて (2)

- オープンソースをサポートする某社いわく
 - オープンソースの開発をサポート
 - 海外の中心的開発者をコンサルタントとして契約
 - しかし、我々以上に利益を享受している会社がある
 - 何もしないFree Riderと指摘される

企業は何ができるのか

- 社内のフリーソフトウェアやオープンソースの活動の認知すべし
 - 夜、家に帰って寝ずにやっているのが健全な姿だと思う？
- フリーソフトウェアやオープンソース活動家の雇用すべし
 - 霞を食っているわけじゃないんだから

役所は何ができるのか

- 業界の悪しき慣行であるプログラマ派遣と同じにするな
 - 源泉徴収ベースで開発見積もりはないだろう
- フリーソフトウェアやオープンソースはプロセスだということを考慮すべし
 - 単年度予算主義から抜け出せ